



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

令和4年10月25日号

発行所／(有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

香谷に産地あります！  
りんご・ルレクチェが今おいしい  
高橋農園  
手作りジャムやお米も販売中！  
新発田市横山1314  
TEL.0254-29-2287  
しばた健康ファーム 検索

## 選挙態勢の二階堂氏、マニフェストを発表

来月の投票まで1カ月となった新発田市長選挙で4選出馬を明言している二階堂馨氏が10月22日(土)、自身の政治集会で選挙公約となる「マニフェスト」を明らかにし、実行プランNo.1～4を発表した。

**「子育て支援と教育の充実に注力し、選ばれるまち」として人口減抑制**

最初に3期目までの実績を強調した。施策の4本柱、「子育て支援」では保育園・こども園の定員を100人増やして、平成29年以来待機児童ゼロを達成していることや、第3子以降の保育料無料化・給食費無償化、「産業振興」では外国からの観光客を4倍に増やしたと(感染症拡大前)とコマの輸出が3000トンを超えたこと、「教育の充実」ではタブレット端末を全小中学生に配布してIT教育の環境整備を進めたことと全教室にエアコンを設置したこと、新たに加えられた「健康長寿」では、残存率が平

成29年度の約46%から約54%に改善されたこと、介護認定率が令和元年度から令和3年度に0.8%改善したことをあげた。

また、新型コロナウイルス対応では「感染拡大防止で、新発田市独自で市民4万人に対してPCR検査や抗原定性検査を実施したこと」と「ワクチン接種率が95%を超えたこと」、「経済対策」では今年キャンペーンやプレミアム商品券発行など、延べ13弾約28億円に及ぶ対策を実施、約60億円の経済効果をあげたと主張している。

一方、新型コロナウイルス対応では、国の施策を先取した迅速さが「新発田方式」と呼ばれ、PCRでは安心感をもたらしたし、経済面でも大きな効果を挙げ、他市町村のよいお手本になったのは事実だ。

次に新たな公約の一部を紹介する。

**新たに脱炭素社会実現を目指して小水力発電や省エネ住宅補助を導入**

まず、目を引くのは、公約の第一章に「持続可能なまちづくり」を掲げて、脱炭素社会の実現を目指して、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)削減に市が先頭を立って取り組むとしたことである。太陽光、小水力発電設置支援(ごみ削減への民間企業支援、防犯・街路の順次LED化、電気自動車購入支援や省エネ住宅補助など)7項目を列挙した。

「健康長寿」は、生きがいをめぐりやフレイル・介護予防など、さらに介護認定率減少に結びつけることとしている。

「子育て支援」では、妊産婦医療助成の拡充、児童虐待防止・ヤングケアラー支援のため、「子ども家庭センター」(仮称)の新設、病児病後児保育や放課後デイ施設を民間と協働して拡充するなどとしている。前回の公約で達成できなかった「保育料完全無料化」については、引き続き努力することの表現に留められている。

「教育の充実」では、学校給食への新発田産食材の導入と給食費全額無料化の検討に入る、と明記した。また、不登校や引きこもり対策として旧車野小を「さわやかルーム」として活用するとしている。

他に、要望の多い公共交通整備については、「新発田版ワンマン方式」など、効果的で経済性に優れた持続可能な公共交通を目指し、としている。本紙でも指摘した防災・豪雨対策について、ほとんど国・県まかせだったが、市独自の市街地の雨水対策を推進する、としている。

10月23日(日)現在、他に名乗りを挙げる候補はいない。もし、選挙戦になれば、選挙公約についても詳しく検証され、新発田市の進むべき方向が明示されるだろう。

前回市長選で善戦した若い小林誠市議、産業政策で具体的なプランを持っている小柳はじめ市議の動向が注目される。

従来から「オガニック」(有機栽培)の支援やオガニックを利用した旅行商品の開発、発地産のペレット化などをうたっている。コマで開拓した海外販路の(他の農産物での)活用もあげた。また、シェアオフィスキネスタで「スマート農業を研究して農家に還元する」としている。その他、多くの公約の返礼品の充実や白新線複線化要望も



漫画家・寺田ヒロオさんの代表作が切手シートで発売

巻町生まれで新発田育ち、「トキワ荘」のリーダー、スポーツ漫画の先駆者と言われる寺田ヒロオさん(1931～1992)の代表作「背番号0」や「スポーツマン佐助」などを配した切手シートが発売された。全800シートで1シート1170円、下越エリアの全郵便局で扱っている。

新発田高校では野球部に属し、電電公社時代には都市対抗野球にも出場した体験が野球漫画のリアリティを支えた。

漫画黎明期の「トキワ荘」時代については藤子不二雄の「まんが道」で読める。

### コラム

円安・円弱

秋菊菊シユウメイキ

急激に円安が進み、対ドルレートで151円を超えた。32年ぶりだとか。これに対して政府・日銀はドル買いのステルス介入をしたという▼手をこまねいていれば年末には、1ドルが180円をつけることもあり得るとか。その場合、私達の家計は年間8万6千円ほど負担増になるとの試算がある▼円安になると、一般的に輸出企業には有利になり、輸入企業は不利になると言われるが、今の円安はそのレベルをはるかに超えて輸入超過、上半期の貿易赤字は1兆円を超えた。燃料も食糧も値上がりして、私たちの暮らしを直撃した▼直接の原因は、国際的な原材料高に伴うアメリカの金利上昇といわれる。アメリカは物価高を抑え込むためにどんどん金利を上げている。一方、日本は長引くデフレと大量の国債発行のため、金利を上げることができない▼しかし、根本的な原因は円安ではない。円弱つまり日本の国力が衰えていることにある。日本は資源がない。農産物も輸入に頼っている。それなのに輸出すべき製品もない▼コロナ禍で痛感した。まず、マスク不足、そしてワクチンはすべて外国からの輸入。半導体も極端に不足して、自動車も電化製品も減産した。必要なものが作れないのだ▼技術立国・日本に立ち帰るべきだ。技術の開発・研究、産業振興に注力すべきなのである。



# ヘルプカードって何？ 知っていることが大切

ヘルプカードは手助けする人と助けてもらう人を結ぶ道具です

「ヘルプカード」とは、何らかの障がいがある困っている人が、周りの人たちに助けを求めるためのカードです。

あらかじめ、カードに助けてほしいことや気を配ってほしいことを書いておいて、助けてもらうための意思表示をしてもいいです。カードを見せられた人や周りの人は手助けをします。「支援の必要な人」を手助けする人を結ぶカードです。

障がいの種類は様々です。例えば、車椅子に乗ってはいけ、周りの人がどうすればいいか、だいたい分かります。でも、耳の聞こえない人や声が出ない人もいます。内部障がいの人もいます。また、災害時などは、気が動転してどうしていいかわからない場合もあります。また、障がいだけでなく、お腹の大きい妊婦さんだったり、認知症の場合もあります。



また、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っていても、出しにくい場合もあります。そんなときに「ヘルプカード」で気軽に手助けしてもらおうというのです。

**必要な人は誰でも持てます。市役所や社協でもらいます。**

「ヘルプカード」の利用は平成24年に東京都で始まり、その手帳と・敷居の低さから徐々に全国に広がってきました。新発田市でも市報で取組をくわしく紹介したり、今年8月にはヨリネスした（市役所の壁に大きな懸垂幕を垂らしたりして周知に努めていますが、まだ始まったばかりとあってまだまだ普及していません。このことですが、「助け合い」の入り口の道具として広げていきたいものです。

市役所・隣の社会福祉課窓口、市役所各支所、生涯学習センター、市民文化会館、イクネスした（駅前複合施設）、市ボランティアセンターなどで配布していますので、必要な方は誰でももらえます。

担当の市ふれあい福祉センター所長の石井さんによると、カードの内側には、必要な支援・配慮してほしいことやお願ひしたいことを記入する欄がありますので、あらかじめ記入するか、記入してもらったさい、手帳や定期入れ・財布などに入れて



常に持っているべき。緊急連絡先や住所などの個人情報の欄もあり、なので、なるべく大切に所持していただきたいとのこと。

新発田市では広報しほほ7月1日号で告知したり、8月には市役所に懸垂幕を掲げたり、担立課に旗やポスターを掲示したり、周知に努めています。10月23日（日）には五十公野地区の防災イベントで担立課職員が「ヘルプカード」の説明をしました。

**出来るだけ多くの人が「ヘルプカード」を知ることが助け合いの第一歩になります。使えばカンタン。見せて、出来ることをしてもらってだけ。**

障がいのある人が困っていたら、相手に伝わっているかを確認しながら「どうしましたか」「何かお困りですか」と声をかけて下さい。相手から言葉が伝えられたら、出来る範囲でお手伝いしていただきたい。



たんぼほの会会長の大橋京子さん

「ヘルプカード」を持っていたら、その中に手助けしてほしいことが具体的に書かれていますので、やはり出来る範囲でお手伝いしていただきたい。

民間人として「ヘルプカード」の普及に努めているたんぼほの会会長の橋本京子さんは「実際に障がいがある身になってみると、なかなかその不自由さに気づけませんが、お互いに『助け合い』の気持ちが大切です。とくに災害時には役に立つはず」と自身が変形関節症に苦しんだ体験から熱心に話してくれました。

## シェアオフィス「キネスタ」 新発田のICT開発の拠点誕生

10月8日（土）、令和3年に開校した旧天王小学校の校舎部分を利用して、新発田のICT産業・先端技術開発の拠点として「キネスタ」がオープンした。

教室を利用した12室のうち、既に7部屋が埋まり、残りの5室は今後新発田にある新発田出身者のスタートアップ（新規創業企業）に貸し出ししたいとしている。

シェアオフィスとしたのは、入居企業同士が連携して、新たな先端技術を開発し、企業単体で利益を出せるようにすることも、あわよくば地元の産業に新しい風を吹かせたいと考えているからだ。

入居企業の一つ、日本旅行は入居企業同士でどう化学反応が起きるか」と期待している。中心となるのは長岡技術科学



|                                                       |                                                    |
|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 蟻塚税務会計事務所<br>新発田市大栄町 7-1-6<br>TEL.0254-23-2222        | 茨木建設(株)<br>新発田市長畑 284-1<br>TEL.0254-23-6851        |
| 飯豊電設工業(株)<br>新発田市豊町 2-18-5<br>TEL.0254-24-2134        | 新発田ニュープラザホテル<br>新発田市諏訪町 1-9-29<br>TEL.0254-26-3131 |
| (株)伊藤組<br>新発田市島湯 1273-1<br>TEL.0254-22-4176           | 新発田建設(株)<br>新発田市富塚 1942<br>TEL.0254-27-5711        |
| (株)イノウエ<br>新発田市新栄町 1-3-2<br>TEL.0254-22-4056          | しばたパッカーズ(株)<br>新発田市奥山神保 427<br>TEL.0254-22-2334    |
| (株)岩村組<br>新発田大手町 4-3-21<br>TEL.0254-20-5550           | 島津印刷(株)<br>新発田市富塚 1419<br>TEL.0254-27-2101         |
| SODデザイン<br>高橋智志<br>新発田市緑町 2-17-26<br>TEL.0254-24-5121 | (株)新和組<br>新発田市米倉 1287<br>TEL.0254-28-5011          |
| 小野寺税務会計事務所<br>新発田市大栄町 2-7-7<br>TEL.0254-22-3497       | 大進電業(株)<br>新発田市佐々木 1895-9<br>TEL.0254-21-5000      |
| (株)下越道路<br>新発田市新富町 1-1-5<br>TEL.0254-23-2296          | (株)大通<br>新発田市内入町 1-12-5<br>TEL.0254-26-1191        |
| (有)クサカベモーターズ<br>新発田市五十公野 4836<br>TEL.0254-22-6311     | フジマ舗道(株)<br>新発田市島湯 4197-3<br>TEL.0254-26-5030      |
| (株)こじまホールディングス<br>新発田市中央町 3-5-12<br>TEL.0254-26-3381  | 扶桑畜産(有)<br>新発田市米倉字島越 4666-1<br>TEL.0254-28-5136    |
| 小林税務会計事務所<br>新発田市中央町 5-4-27<br>TEL.0254-22-2705       | 山田建設(株)<br>新発田市大友 3856<br>TEL.0254-25-0700         |
| 小柳産業(株)<br>新発田市八幡新田 416<br>TEL.0254-22-7010           | (株)安田組<br>新発田市豊町 4-3-39<br>TEL.0254-24-1761        |

|                                                         |                                              |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 介護老人福祉施設 陽だまり苑<br>新発田市岡田 1746-1<br>TEL.0254-20-3800     | (株)オオヌマ<br>新発田市五十公野 3969<br>TEL.0254-22-2223 |
| 複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑<br>新発田市諏訪町1-10-38<br>TEL.0254-24-1111 | 尾田建設<br>新発田市荒町甲 47<br>TEL.0254-22-4200       |

割烹 志まや  
新発田市御幸町1丁目1の1  
☎(0254)22-2102(代)

堀部安兵衛ファン待望の出版 / A4・オールカラー・84頁  
新発田人なら一家に一冊  
武庸会百周年記念誌

頒布価 1000円

頒布所: 新発田市観光協会 新発田市諏訪町 1-2-11  
TEL.0254(26)6789

- ◆堀部安兵衛略伝
- ◆堀部安兵衛の家紋
- ◆中山家と長徳寺
- ◆義士堂の天井画
- ◆元禄赤穂事件
- ◆安兵衛文庫
- ◆堀部安兵衛武庸家系図
- ◆武庸会百年の歩み
- ◆義士堂の本像とその由来
- ◆芸能にみる安兵衛と忠臣蔵
- ◆安兵衛観光マップ
- ◆堀部安兵衛資料など



# 「もう一つの市島邸」 東京・市島邸の展覧会

10月15日(土)13時45分から、天王・市島邸での企画展「東京・市島邸関連資料展」も一つの市島邸に先立ち、「東京・市島邸関連資料展記念セレモニー」が行われた(写真左)。早稲田大学が所有していた東京・通称林町にあった東京・市島邸の一部と所蔵品の一部が、敷地の売却に伴って新発田市に寄贈され、天王・市島邸に移されたことを記念した式典である。

早稲田大学側からは総長代理として理事の大庭文子氏と総務課長の藤本さつき氏、さらに長年にわたって天王・市島邸の研究をしている教育学部非常勤講師の藤原秀之氏、新発田市側からは二階堂警市長代理として伊藤肇一副市長が出席した。

セレモニー終了後は、早稲田大学の藤原秀之氏による東京・市島邸の歴史と展示品の解説が行われた。

**屋敷は元津山藩主松平家の江戸屋敷。9代徳厚が購入、市島塾を併設した**

東京・市島邸は市島家9代当主・徳厚の時代、妻の実家・津山藩主松平家の江戸屋敷約4千坪を購入し、その一部に建設した。徳厚の東京生活の拠点とするとともに、市島塾も併設し、多くの有為の学生を育てた。塾長は諸橋次郎顧問が市島

春城だった。

その後、東京・市島邸は早稲田大学に寄贈され、女子寮として活用されたが、老朽化のため令和元年度末に閉鎖された。

**初展示の「谷文晁筆鷺鳥図」や「天王・市島邸を模した木瓜紋鬼瓦も**

今回は、東京・市島邸の離れから移された門扉表札・書院の間・谷文晁筆鷺鳥図(複製)・写真・菊花図戸袋小櫛・円山忠峯筆鯉魚図幅(複製)に佐藤哲三画伯の「パイパー」のある静物などの美術品のほか、閉鎖前に撮影された写真パネルも展示されている。

床の間の意匠は新発田藩の五階菱を图案化したもの、庭にあった庭石の狸は東京・市島邸の所在地・狸坂にちなむものと思われる。

展覧会は12月25日(日)まで、開館午前9時〜午後5時(12月は午後4時30分)、休館は毎週水曜日(祝日開館翌日休)だ。



## 石川啄木と宮崎郁雨 「人助け」の精神は 先祖からの授け物

石川啄木を歌人として世に出したのは、上京前の北海道、とくに函館での文学三昧の暮らした。新潟は荒川村現新発田市出身の宮崎郁雨(本名・大四郎)の物心両面での支援の賜物だった。郁雨は北海道・函館の啄木を支えなければならぬ、啄木の死後、その家族の面倒をみて、啄木顕彰のための資料保存と蒐集に尽くした。

本紙は郁雨の生まれ故郷である荒川の市立松浦保育園内の啄木・郁雨の歌碑建立を機会に、啄木・郁雨の記事を連載した。その記事を読んだ読者が電話で、非常に好意的ではあるが、郁雨を「たのお人好し」と評した。そこで「たのお人好し」だけでは説明できない郁雨の事績を補足する。

郁雨は明治18(1885)年、当時の北浦原郡荒川村に生まれた。父は祖父の作った借財が返せず、郁雨ら兄弟を同じ荒川村の母・クリの実家、大沼家に預けて函館に渡り、明治22(1889)年の春を迎えにきた。幼少期の郁雨は貧困の中にあっただが、その後父は味噌醸造業で大成した。

父の口癖は「他人を喜ばせることの出来る者は仕合せだ」と、郁雨はその言葉が骨髄まで沁み込んでいて「或いは私の一生を左右している(『風籟集』巻二)と書き弟の願平は自分の幸せは他人にも与えよ、というのが宮崎家の家訓だった(『啄木研究第三巻』)と回顧している。

郁雨は商業高校時代「明星」を愛読し「函館新報社」を作るほどの文学少年だったが、父の意向を尊重し、家業の味噌醸造業を継いだ。

そんな折、文学結社「青嶺社」に参加し、啄木と出会った。啄木への北海道時代の援助は本紙1-2号に書いたので省略するが、啄木に上京を勧めた父の許可を得て費用を負担し、その後1年2ヶ月余り、郁雨は啄木の夫人や家族の面倒をみて、啄木上京後も明治44(1911)年8月まで援助を続けた。

翌年春の啄木の死後は、函館に帰ってきた夫人と子どもたちの面倒をみることも、函館啄木会や啄木文庫の創設、啄木の墓の建立などに尽くした。

**「本業をなげうって、  
同院(函館慈恵院)百年の基礎を築く」**

郁雨は「たのお人好し」ではない。大正14(1919)年に医療・養老・育児を旨とする慈善施設・函館慈恵院の監事となり、家業を廃して慈善に専念(昭和8(1933))

年に常務理事に就任。理事長に太郎代浜出身の小熊幸一郎を迎え、昭和9(1934)年の函館大火後は「縁の下力持」(阿部たつ)著「啄木と郁雨」に徹して慈恵院の規模、人助けの対象を拡大した。

「大火で再起不能に直面したが、氏は同院の復興のために本業をなげうって中略同院百年の基礎を築くに至った(『社会事業功労者事績(厚生省)』)である。また、同文書によれば、郁雨の常務理事就任時の予算は8万円だったが、昭和16(1941)年には27万円まで増えた」とある。

慈恵院常務理事退任後は、盟友・岡田健蔵が育てた市立函館図書館長に就任するも戦時中に在郷軍人会分会会長だったことから、公職追放。その後は函館引揚援護局の嘱託として献身的に活動したという。

戦前は鶴岡小学校財団常務理事、高森尋常小学校同行人会会長として、貧困・薄幸な学童の修学に尽くしたことといい、郁雨の「人助けは若い性筋入りなのだ。」

主催/新発田市文化団体連合会

伝統文化の力で  
若者の進学への  
夢を応援します

## 錦秋チャリティー茶会

～給付型奨学金しずくプロジェクトの趣旨に賛同して～

(一財)未来応援奨学金にいがたが取り組む「給付型奨学金しずくプロジェクト」に賛同し、新発田市文化団体連合会加盟団体によるチャリティー茶会が開催されます。

11/20(日) 午前9時～午後3時30分

会場/五十公野御茶屋、旧県知事公舎記念館  
※駐車場は、旧県知事公舎記念館または東小中学校駐車場をご利用ください。  
隣接する五十公野コミュニティセンターへの駐車は出来ません。

茶席券/前売券のみ 3,000円(限定200枚)  
※うち、2,000円はチャリティーとして寄附されます。  
※市民文化会館事務室にて販売中(平日9時～17時)

【第一席】表千家同門会 高山宗悠 【第二席】宗徧流 石井宗美

問合せ/新発田市文化団体連合会(市民文化会館内) ☎0254-26-1576

MARCH 11/18(金)~23(水) 祝水

贈答用にも  
おすすめ

## ルレクチェ マルシェ

滑らかな食感、芳香な香り

TON TON

●新発田店 9:00~18:00  
新発田市荒町1480  
☎0254-20-2229

●松崎店 9:00~19:00  
新潟市東区新松崎1-6-14  
☎025-274-2229



さあ！毎週金曜日は **陽だまり苑 ふえりあ** へ行こう！

Friday 金曜日  
**ふらいでー教室** 11月のご案内

**4日(金)** 10:00~11:30

**きらきら体操**  
血行促進！リズム体操

料金 200円

持ち物：内履き  
飲み物



体操の後はカフェで  
ティータイム



**11日(金)** 10:00~11:30

**お薬110番**  
～お薬・健康のお話～

講師 新潟県薬剤師会 様

薬の正しい飲み方・飲み合わせ  
など普段は聞けないお薬の疑問に  
薬剤師が何でもお答えします！



薬の正しい飲み合わせって？  
食生活と薬の関係は？

**18日(金)** 10:00~11:30

**きらきら体操**  
筋力アップ+脳トレ体操

料金 200円

持ち物：内履き  
飲み物



体操の後はカフェで  
ティータイム



ケガをしない  
体づくりをします！

**25日(金)** 開場 13:40  
開演 14:00  
終演予定 15:00

**天上の音楽**  
～ハートケア・コンサート～  
in陽だまり苑ふえりあ

共催 株式会社 日比野音楽研究所

**入場 無料** 当日はフードバンクはたばたへの  
募金箱を設置いたします

美しい音楽と歌で心・体・魂を癒し  
心安らぐひと時をお届けします



日比野 剛彦 様  
(サクソフォーン)

日比野 愛子 様  
(ピアノ)

各教室へのお申し込みをお待ちしております **陽だまり苑 ふえりあ** ☎20-8283  
新発田市富塚町2-4-13

五十公野から **赤谷** への道

街道沿いに伝えられた暮らし



江戸時代に参勤交代の道として利用された会津街道沿いには、五十公野・米倉・山内・赤谷などの宿場・関所が点在し、当時の旅人や物資の往来が盛んでした。また、米倉・山内村には「本木原」と呼ばれる藩の御用林があり、農業だけでなく、山の恵みによつてさまざまな生業が営まれてきました。これらの暮らしの一端を古文書や絵図、街道を紐出してもたらされた物資などで紹介し、街道沿いに伝えられた暮らしについて解説します。

10/1(土) → 12/25(日)

▶ 講演会 (博物館を知る講座)

「博物館と学芸員」  
11/26(土) 13:30~15:00  
講師 / 新潟県立歴史博物館  
経営企画課課長代理 山本哲也氏

● 定員 / 25名 (申込み先着順) ● 参加費 / 無料  
● 対象者 / どなたでも  
● 集合場所 / 歴史図書館 2階会議室  
※ 申込み受付 11/1(火)~11/25(金)  
当館へ電話または直接事務室へ

▶ ギャラリートーク

当館職員による展示解説  
10/1(土)、11/5(土)、12/3(土)  
11:00~11:30 13:00~14:00  
※ 申込み不要。1階展示室1へお越しください。



斎藤家酒器

▶ 城下町まち歩き (札の辻編・外ヶ輪編)

江戸時代の町絵図を手掛かりに歴史散策をしませんか？

① 札の辻編 10/8(土) 13:30~16:00 (終了予定)  
② 外ヶ輪編 11/12(土) 13:30~16:00 (終了予定)  
● 定員 / 15名 (申込み先着順) ● 参加費 / 200円 (当日徴収)  
● 対象者 / どなたでも  
● 集合場所 / 歴史図書館 2階会議室  
※ 申込み受付 ① 9/29(木)~10/7(金)  
② 11/1(火)~11/11(金) まで  
当館へ電話または直接事務室へ

新発田市立歴史図書館 新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100

この度発見され76年ぶりに公開となる、幻の虹児 画「雪模様」



落谷虹児記念館  
**開館35周年記念展**

2022.8.9(火) ▶ 12.11(日) 9:00~17:00  
(入館受付16:30まで)

【休館日】月曜定休 (但し9/19敬老の日、10/10スポーツの日は開館し翌平日休館)

【入館料】一般・大学生510円 (団体20名様以上410円)  
高校生210円、小・中学生110円 (税込)

落谷虹児記念館は1987年7月1日、「開館記念展 落谷虹児抒情画の世界」の開幕とともに開館しました。開館以来、当館は多彩な落谷虹児の作品に関わる独自のテーマの展覧会を多く開催してきました。また、落谷虹児自身の作品を核に、これまでに約3,000点を数える関連作品を収集し、落谷虹児コレクション(所蔵品)展や企画展、教育普及事業などで紹介してまいりました。

本展覧会では、2022年7月に開館35年を迎えた落谷虹児記念館そのものに焦点を当てます。この美術館の原点ともいえる開館前後の活動、内井昭蔵の設計による美術館建築など様々な視点から35年間の活動を紐解きます。

落谷虹児記念館 〒957-0053 新潟県新発田市中央町4-11-7  
電話&FAX 0254-23-1013